

## 安全データシート(SDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名: Nb2O5-V  
化学物質等の名称: 五酸化ニオブ  
会社名: 三和研磨工業株式会社  
住所: 〒611-0033 京都府宇治市大久保町上ノ山 22-1  
TEL: 0774-41-6656 FAX: 0774-43-9201  
緊急連絡先: 京都薄膜材料研究所  
TEL: 0774-52-5488 FAX: 0774-55-5095  
担当者: 佐久間 隆一  
E-mail Address: ryuichi\_sakuma@sanwakenma.co.jp  
推奨用途及び使用上の制限: 電子ビーム蒸着用蒸着材

### 2. 危険有害性の分類

#### 物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性物質および混合物	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
水と接触して可燃性／引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類対象外

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	データなし
急性毒性(経皮)	データなし
急性毒性(吸入:ガス)	データなし
急性毒性(吸入:蒸気)	データなし
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	データなし
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	データなし
吸引力呼吸器有害性	データなし

環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(慢性)	データなし
ラベル要素	
絵表示またはシンボル	該当なし
危険有害性情報	該当なし
注意書き:	<b>【安全対策】</b> この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じんを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 <b>【救急処置】</b> 気分が悪い時は医師の手当て、診断を受けること。 <b>【保管】</b> 施錠して保管すること。 <b>【廃棄】</b> 内容や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
国・地域情報	対応法規制なし

---

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:	単一
化学名または一般名:	五酸化ニオブ
化学式:	Nb <sub>2</sub> O <sub>5</sub>
CAS 番号:	1313-96-8
含有量:	99.9%以上
官報整理番号:	1-516

---

### 4. 応急処置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合:	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 医師に連絡をすること。
目に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合:	速やかに口をすすぎ、直ちに医師の手当て、診断を受けること。

---

## 5. 火災時の処置

消火剤:	大量の散水、水噴霧。
使ってはならない消火剤:	特になし
特有の消火方法:	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣(耐熱性)を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項:	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和:	こぼれた物質を乾燥容器内に掃き入れる。
封じ込め及び浄化方法と機材:	危険でなければ漏れを止める。 粉じんの発生、拡散を防ぐ。
二次災害の防止策:	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い 技術的対策:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体排気: 安全取り扱い注意事項:	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行う。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
接触回避: 保管 技術的対策:	「10. 安定性及び反応性」を参照。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。
混触危険物質: 保管条件:	「10. 安定性及び反応性」を参照。 混触危険物質から離して保管すること。 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 施錠して保管すること。
容器包装機材:	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
取り扱い注意事項:	保護メガネ、防塵マスク、保護手袋などを着用し、皮膚との接触、吸入を避ける。
保管:	密封保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度:	規定なし。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	
日本産業衛生学会(2005年版)	設定されていない。
ACGIH(2013年版)	設定されていない。
設備対策:	粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
呼吸器の保護具:	防塵マスクを使用する。状況に応じ送気マスク、空気呼吸器を使用する。
手の保護具:	保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	眼、顔面用の保護具又は呼吸用保護具と眼用保護具の併用を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	保護衣、保護長靴等を着用すること。
衛生対策:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等:	
形状:	固体
色:	濃灰色
臭い:	無臭
融点:	約 1485℃
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
比重(密度):	4.6g/cm <sup>3</sup>
溶解度:	溶けない(水)
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
燃焼性(固体、ガス):	不燃性

## 10. 安定性及び反応性

安定性:	通常取扱条件下では安定。
混触危険物質:	リチウム

## 11. 有害性情報

急性毒性	GHS 判定 データなし
皮膚腐食性・刺激性:	GHS 判定 データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	GHS 判定 データなし
呼吸器または皮膚感作性:	GHS 判定 データなし
生殖細胞変異原性	GHS 判定 データなし
発がん性:	GHS 判定 データなし
生殖毒性:	GHS 判定 データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露):	GHS 判定 データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露):	GHS 判定 データなし
吸引性呼吸器障害:	GHS 判定 データなし

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性: GHS 判定 データなし  
水生環境慢性有害性: GHS 判定 データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共  
団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の  
上処理を委託する。

特別管理産業廃棄物: 該当しない。

---

## 14. 輸送上の注意

国連分類: 非危険物  
海洋汚染: 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律: 該当しない

特別の安全対策: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように  
積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
水に濡れないように取り扱う。

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 表示・通知対象物質や特定化学物質等に該当しない。  
化学物質管理促進法(PRTR 法) 非該当  
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律: 既存化学物質  
毒物及び劇物取締法: 普通物  
消防法: 非危険物  
道路法: 非危険物  
船舶安全法: 非危険物  
港則法: 非危険物  
航空法: 非危険物

---

## 16. その他の情報

化学物質管理促進法 PRTR-MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社  
(独)製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質総合情報提供システム  
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ  
化学大辞典 共立出版  
日本化学会編 化学便覧

---

### 記載内容についてのご注意:

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成したもので、新しい知見により改訂されることがあります。また、記載された注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いをされる場合はその用途、用法に適した安全対策を実施してご使用下さい。  
記載内容は情報提供であり、保証するものではありません。